

2026 年 8 月

桜の宮中・大原中・桜の宮小・甲緑小
保護者 各位

神戸市教育委員会事務局学校環境整備課

保護者説明会開催結果のご報告

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本市教育行政にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

この度、桜の宮中学校の修正統合計画(案)について説明会を開催いたしましたので、下記のとおり結果をお知らせいたします。

記

1 開催日時

(1)2026 年 7 月 16 日(木)10:00～

(2)2026 年 7 月 18 日(土)18:30～

2 場所

桜の宮小学校 体育館

3 出席者数

計 77 人(全2回の延べ人数)

4 教育委員会事務局からの説明

修正統合計画(案)について

※5月に開催した保護者説明会でいただいたご意見等を踏まえ、修正統合計画(案)をお示しし、説明を行いました。詳細は別添資料をご確認ください。

5 今後の対応

説明会などでいただいた意見を踏まえ、速やかに今後の方針を決定いたします。

【参考】主な質問・意見及び教育委員会事務局の回答

質問	回答
≪統合計画案について≫	
統合で人数が増えると先生がこれまでよりも子供の面倒を見ることができなくなるのではないですか。不登校の子供が増えないか心配です。	・教員数は学級数によって決まります。統合によって学級数が増えれば教員も増えるため、より多くの目で子供たちを見ることができると考えています。 ・統合までの間に、桜の宮中学校と大原中学校で交流を深めるなど、子供たちが安心して学校生活を送れるよう対応に努めていきます。
・タブレットを配付しているのであれば、統合ではなく他校とオンラインで授業をするという選択もあるのではないですか。	・他校とオンラインで授業を行うという方法も考えられますが、中学生においては、多様な考え方や価値観を持つ同年代の子供や教員と触れ合うことや、将来に向けて集団の中で、社会性を身につけていくことが必要であり、一定の集団規模を確保することができる学校統合は必要と考えています。
・各家庭にどこの学校に行きたいかを聞き、それに応じて校区変更をすればよいのではないですか。	・近隣の学校も将来的に子供の数が減少していくため、校区変更を実施したとしても、周辺校も含め小規模化が加速してしまいます。 ・桜の宮中学校については、隣接する中学校の立地条件を踏まえると、統合が望ましいと考えています。
・大原中を桜の宮中に統合するという選択肢もあるのですか。	・神戸市では中学生の通学距離は、片道3km以下を基準としています。 ・桜の宮中学校で統合した場合は、大原中校区から桜の宮中学校までの通学距離が3kmを超える地域が生じます。 ・通学負担を踏まえると、桜の宮中を大原中に統合することが望ましいと考えています。
・統合後の学校運営のビジョンを教えてください。魅力ある学校であれば統合も良いと思えるのではないのでしょうか。	・現在、大原中学校では、台湾の中学生との交流を行っています。今年は4月23日・24日に生徒同士が、茶道や卓球等を通じて交流を深めており、今後も形を変え継続していく予定です。

質問	回答
・地域住民です。統合には反対ですが、もし統合するのであれば、桜の宮小学校の現6年生は来年度から大原中学校へ登校し、桜の宮中学校の現1年生は全員桜の宮中学校で卒業するという形がよいと思います。	・桜の宮中学校の現1年生が進級し3年生になったときに、1年生・2年生がいない状況となります。子供たちの教育環境を考えると、後輩がいない学校で1年間を過ごして卒業することは、教育的に課題があると考えているため、大原中の生徒ともに最後の1年を過ごしてほしいと考えています。
・希望者が大原中学校に通学すると、桜の宮中学校の生徒がより少なくなるのではないのでしょうか。教員配置の拡充を検討するとの話もありましたが、それなら中学校1年生が卒業するまで現状維持は可能なのではないのでしょうか。	・来年度、生徒数の減少は考えられますが、学校と教育委員会が連携し、子供たちが安心して学校生活を送れるように対応を考えていきます。 ・教員配置の拡充については、統合された際に特例で実施するものです。
・今の中学1年生は入学前に統合の話を聞く機会が与えられませんでした。高一ギャップの説明もありましたが、8年間一緒に学んできた子供たちが最後の1年間だけ、全く別の環境に放り込まれるのは心配です。	・通常学級が各学年1学級である桜の宮中学校では、一定の集団規模を確保することができる学校統合を早期に行うことが必要と考えています。 ・大原中学校の生徒と十分に交流を重ねたうえで、最後の1年間を一定の集団規模の学校で過ごすことになれば、高校進学前に人間関係を構築する経験を得る機会になると考えています。
・署名活動を行い、反対意見が多ければ、統合計画が撤回されることはありますか。	・反対のご意見があれば、丁寧にお聞きしたいと考えていますが、学校の統合は、多数決で決定すべき性質のものではないと考えています。
《統合までの対応について》	
・統合前にアンケートは行わないのですか。アンケートで保護者や子供の気持ちを聞いて意見交換を重ねたうえで、どのように進めていくかを考えた方がよいと思います。	・統合の決定については、保護者の皆様のご意見も踏まえ、教育委員会が最終的に判断しなければならぬものと考えています。 ・統合が決定すれば、子供たちの不安などを、アンケート調査等を通じて聞き取りを行い、その内容も踏まえて対応を検討していく予定です。

質問	回答
・1週間連続して大原中の生徒と交流する、トライやるウィークと一緒に実施する等、オンラインも含めて、大原中の生徒と交流する機会を増やしてほしいです。現中1の子供がいますが、子供は統合に不安を抱えています。	・統合が決定すれば、学校間の交流を積極的に実施していきたいと考えています。 また、子供たちの不安をできるだけ解消できるよう柔軟な教員配置等について配慮を行います。
《通学手段・通学路について》	
・大原中まで歩くと40分ほどかかります。タブレットもあるので、子供たちは荷物が多いです。スクールバスの運行も検討してほしいです。 ・暑さは昔とは違います。安全に通えるようになり合いタクシーも検討したらよいのではないのでしょうか。	・神戸市では、路線バスの休止に伴い、通学手段を確保するために、代替バスを運行している事例はあります。 ・大原中に統合になれば、一部の子供たちの通学距離が遠くなることは承知していますが、反対に近くなる子供たちもいます。 ・大原中学校までの通学距離は神戸市が定める通学距離の基準3kmを下回っており、通学用のバスを導入することは難しいと考えています。 ※大原中学校では、熱中症対策として、通学時に日傘やネッククーラーを使用することを認めています。
・大原中学校へ子供を車で送迎することはできますか。また、校内に駐車できる場所がありますか。	・原則として車での送迎はご遠慮いただいています。 ・なお、ケガや体調不良など、子供の個別事情等に応じて、必要に応じて保護者の送迎を認めている場合もあります。
《その他》	
・リユースでは、数は足りるのですか。希望者が多い場合はどうなりますか。	・リユースは大原中で実施したばかりなので、現時点では数量についてはわかりません。もし、統合が決まれば、できるだけご協力いただけるよう学校からも積極的に働きかけたいと考えています。
・説明会はまた実施されるのですか。	・現時点では未定です。 ・今後、どのような形でお伝えさせていただくか、検討したいと考えています。

意見
統合を延期してほしい。現中1だけ残る場合、後輩がいなくなるという話がありましたが、希望選択制で来年から大原中に通う子供がいるのであれば、来年から後輩がいなくなる可能性もあります。万が一統合する場合でも、大原中に来年から通えるという選択肢だけでなく、桜の宮中で卒業できるという選択肢も残してほしいです。
後輩はいてもいなくても良いと思います。子供の数が少ないのであれば、桜の宮中の OB・OG や保護者、教員も一緒に、桜の宮中を盛り上げていけばよいのではないのでしょうか。
統合が良いと思います。桜の宮小学校の現6年生は統合を楽しみにしています。もし延期されるようなことがあれば、子供たちにどのような説明をしたらいいかわかりません。
説明のあった通学推奨ルートには、照明が少ない場所があります。警察署の横の通りは人通りが少ないです。警備や見守りを検討してほしいです。

(問い合わせ先) 神戸市教育委員会事務局学校環境整備課
E-mail:edu-keikaku@city.kobe.lg.jp

